

筑前町 学校教育推進2019



確かな学力

志をもって意欲的に学び、自律心と思いやりの心をもつ、たくましい子どもの育成



豊かな心

健やかな体

信頼される学校づくり

7 教職員の資質向上と人材育成

6 人権教育の推進

5 特別支援教育の充実

4 いじめ・不登校等に対する生徒指導体制の確立

3 心づくり・体づくりの推進

2 確かな学力を育み、個性や能力を伸ばす学校教育の充実

1 地域に開かれた学校づくりの推進

1 地域に開かれた学校づくりの推進

指標 児童生徒、保護者の学校満足度：80%（アンケート）

コミュニティ・スクール（学校運営協議会）では

- ・ みんなでよく話し合う（熟議）
- ・ 目標に向かって、一緒に活動する（協働）
- ・ 校長を中心に、人をつなぎ、学校組織としての力を引き出す（マネジメント）

熟議・協働・マネジメントを通して、**地域一体**となって子どもたちを育てていきます



三輪中学校区の実践

「小中合同運営協議会」

「草場川へおいで」（小中連携事業）の協議

- ・ 知の活動（小中合同サマースクール）
- ・ 徳の活動（蛍の幼虫の放流）
- ・ 体の活動（小中体力テスト記録会）

「草場川へおいで」（小中連携事業）



小中合同サマースクール



小中体力テスト記録会

蛍の幼虫の放流

夜須中学校区の実践

「地域と一体となった教育活動の実施」



地域（助産師）の方を招いての「命の授業」

学校運営協議会主催による安心・安全集会



地域参加の運動会

放課後の居場所づくり（中牟田小アフタースクール）

共通した取組

- 各中学校区毎に、学習規律の定着やスマートフォン等の適切な取扱いに対する取り組みを推進します。
- 児童生徒が主体となる取り組みを推進します。
- 保護者等と連携した特色ある取り組みを推進します。

夜須中学校区
家庭学習強化週間
「週間から習慣へ」
さあ、勉強だ!!
家に帰って



- 授業と連動した家庭学習を工夫します。
- 小中学校が連携した「家庭学習強化週間」を設定して、学習習慣の定着をめざします。

筑前町立 小・中学校
ネット4ない宣言

- 知らない人と交流しません
- 小学生は夜9時、中学生は夜10時半以降は使いません
- 勉強や食事、会話中は使いません
- 人を傷つけることはしません

筑前町立小中学校 児童会・生徒会

2 確かな学力を育み、個性や能力を伸ばす学校教育の充実

指標⑤全国並びに県の学力調査の各教科の平均正答率が、小・中学校とも全国・県の正答率を上回る

『筑前町学力向上推進プラン2019』を推進します

平成30年度までに実施された全国学力・学習状況調査及び福岡県学力調査の結果並びに町教育支援大綱を踏まえ、『12』の施策を重点に児童生徒の学力向上を図ります。

筑前町学力向上推進プラン2019

子どもたちの未来を拓く確かな学力の育成

○基礎的・基本的な知識・技能 ○思考力・判断力・表現力 ○学びに向かう力

【学びの基盤づくり】

学校

【授業づくり】

2019年度 筑前町学力向上施策の具体

【連携づくり】

教委・家庭・地域

教員の意識・指導力の向上

各調査問題、高・大入試改革の動向を踏まえた指導方法の充実
● 調査問題等の誤答分析に基づいた個に応じた指導を工夫する。
● 思考力・表現力等を問うことを重視した定期考査問題の改善。

中学校区の特徴を活かした小中合同授業研修会の開催

● 小中学校の指導内容、指導方法等の違いを学び合い、**学び方の系統性**や**学習規律の一貫性**、指導方法の改善につなげる。

指導方法の工夫改善

少人数指導とICTの活用

● 指導方法工夫改善加配教員を活用し、**習熟度の程度**に応じた授業を充実させる。
● ICT（電子黒板やタブレット等）を活用して授業づくりを工夫し、学習意欲を高める。

個に応じた指導の充実

● C・D層の学力向上に裨した**授業や長期休業中の補充学習等**を充実させる。

授業改善

主体的・対話的で深い学びを位置つけた学習指導の推進

● 粘り強く取り組む意欲の喚起。
● 見方・考え方を発揮する授業。
● 「書く」を大事にした学習活動。
● 問いを重視し、**交流の質**を高める。

検証して改善するサイクルの確立

● 全国・県等の調査結果から**学力・学習状況**を把握・分析し、**授業改善に活かす検証改善サイクル**を確立する。
● 児童・生徒による**授業評価**を実施する。

英語力向上

外国語学習・外国語活動の充実

● 英語でのコミュニケーション、スピーチ等**アウトプット**の活動を充実する。
● HRTをT1とし、**ALT5名**を活用した英語・外国語活動の**授業**を充実する。

英語環境の充実（町事業）

● 全中学生を対象に**英語検定試験**を実施する。
● 「ALTとあそぼ！」を実施する。
● 「English Workshop」を実施する。
● 筑前町**英語スピーチコンテスト**を実施する。

実態分析と研修の実施

小・中連携した学力実態分析

● **学力実態分析部会**を通して、筑前町**共通の視点**に立った学力実態分析を行う。
● 共通に課題に対する、**小・中一貫した取組の方向性**を示す。

教職員研修の充実

● 教育課題への対応、人材育成の面から、**経験年数、職務内容**に応じた**研修の充実**を図り、教職員の実践的指導力を磨く。

アフタースクールの実施

外部指導講師・地域ボランティアを活用した放課後学習の推進

● **中学校アフタースクール、小学生放課後学習**を実施する。

家庭学習・規範意識の向上

小・中・家庭・地域との連携

● 授業と**連動した家庭学習**を工夫する。
● 家庭学習**強化週間**、**学習規律**の定着、**スマートフォン**等の適切な取扱いに対する連携した取組を推進する。

学校の指導体制の整備による教育の機会均等

全国や県の平均正答率を超えたり、差が縮まったりしているが、学校間の平均正答率に差がみられる。

学校の組織的で継続的な検証して改善する仕組みの構築

学力調査結果の分析や成果等の共有、調査結果を活用した**検証・改善サイクル**の仕組みができてきたが、調査対象学年以外の具体的な取組に各学校のばらつきがある。

平成30年度 全国学力・学習状況調査結果・福岡県学力調査等に基づく課題

学びに向かう力、思考力・判断力・表現力の育成

全体的に活用問題に対して課題が見られる。特に、目的や条件に応じた「書く力、話す力」の向上が必要である。また、最後まで諦めない力の育成が必要である。

授業時間外や家庭学習の充実

学校の時間以外に勉強をする時間や学習習慣が身についていない児童生徒の割合が高い。特に、家庭学習の時間が1時間未満の児童・生徒が4割を超えている。

生活習慣の改善

スマートフォン等について、小学生では、「ゲーム」等、中学生では「メール・インターネット」等に使用している割合が高い。生活習慣の改善や情報モラルの育成が必要である。

夜須中・三輪中 アフタースクールの実施

- 民間教育団体と連携し、高度な専門性、指導力及び豊富な経験を有する外部講師による放課後学習を毎週2回、各中学校で実施します。



夜須中(火・木)三輪中(水・金) 指導者: 英語3名 数学3名				
1年	1校時 19:30~20:20	2校時 20:30~21:20	受講者	教室
基礎講座	数学	英語	20名	①
活用講座	英語	数学	20名	②
2年	1校時 19:30~20:20	2校時 20:30~21:20	受講者	教室
基礎講座	数学	英語	20名	③
活用講座	英語	数学	20名	④
3年	1校時 19:30~20:20	2校時 20:30~21:20	受講者	教室
基礎講座	数学	英語	20名	⑤
活用講座	英語	数学	20名	⑥

※時期によっては、時間帯を変更する場合があります。

ALT (5名) を活用した 英語・外国語活動の充実

- 5名のALTを各学校に配置し、小学校外国語活動(5・6年生70時間、3・4年生35時間)及び中学校英語科学習の充実を目指します。
- 夏季休業期間に、3・4年生を対象とした「ALTとあそぼ!」を実施し、英語によるコミュニケーション能力の向上を目指します。



3・4年生「ALTとあそぼ!」

English Workshop イギリス ワークショップ の実施



- APU(立命館アジア太平洋大学)の留学生と交流し、英語に親しみ、慣れることで英語コミュニケーション力を鍛えます。
小学校(6月: APU)
中学校(5月: 各中学校/11月: APU)



APUを会場に、海外からの留学生が直接指導

英語環境の充実 英語スピーチコンテストの実施 英語検定試験の実施

- ICTを活用した授業づくりや英語による校内放送やなど、英語への興味・関心を高める校内の環境整備を図ります。
- 筑前町英語スピーチコンテストを実施します。
- 全中学生を対象に英語検定試験を実施します。



英語による校内放送



文化祭での英語スピーチ

平成30年度
英検取得状況

英検3級以上取得(中3)	35.1%
英検4級以上取得(中2)	65.0%
英検5級以上取得(中1)	81.6%

3 心づくり・体づくりの推進

指標☞児童生徒質問紙「夢や希望や目標を持っている」において肯定的な平均回答率が全国平均を上回る
 指標☞体力アップシート チャレンジ達成児童数：100%(小学校) 実施生徒数：100%(中学校) (実施調査)

キャリア教育で、「夢や志」を育み、自尊感情を高めます。

- 「夢や志を育む筑前っ子育成プラン」を踏まえ9年間を見通したキャリア教育に取り組み、学ぶことや働くこと、生きることの尊さを実感させ、学ぶ意欲を向上させます。



4年生 2分の1成人式



4年生 2分の1成人式



中学校体験入学 授業風景



中学校2年生 立志式



中学2年生 職場体験



中学2年生 職場体験

食育の推進、体力・運動能力の向上に取り組みます。

- 児童生徒が健全な食生活を実践し、健康で豊かな人間性を育ていけるよう、学校教育活動全体を通じて、総合的に食育を推進します。

- 日常的に運動を楽しみ、自ら体を鍛える児童生徒を育てるために、体育科学習、体育的行事等の取組を充実します。

➤ 教科、道徳、特別活動等の指導を充実します。

- 家庭や地域と連携し、体験活動を取り入れた授業を工夫します。
- 栄養教諭、養護教諭の専門性を生かした授業を実施します。



「弁当の日」の取組

➤ 学校給食の充実を図ります。

- 全校のランチルームに食育コーナーなどの環境を充実します。
- 毎月初めの「和食の日」、19日の「食育の日」を充実します。
- 第2次筑前町食育推進計画を踏まえ、食育の充実に取り組みます。
- 「筑前町学校給食における食物アレルギー対応方針」に基づく食物アレルギーへの適切な対応を行います。



➤ 体育科学習、体育的行事等の指導を充実します。

- 体育科学習における運動量の確保を前提とした授業づくりを行います。
- 自己やチームの目標に向かって粘り強くチャレンジする授業、達成感や満足感を育むような体育的行事を行います。
- 教育活動全体を通して体力向上に取り組みます。
 - 「1校1取組」「体力アップシートの活用」「外遊びの奨励」「スポコン広場への参加」等を通して、体力向上に取り組みます。



「駅伝大会」
～中学生の支援～



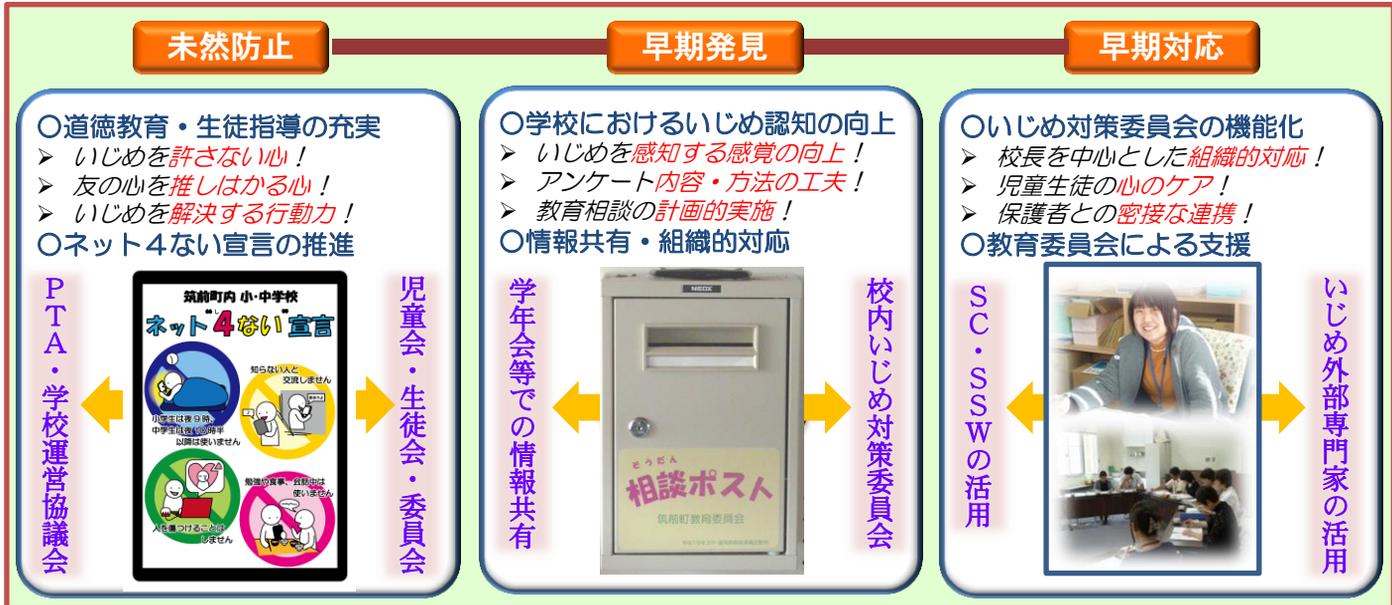
「みわりんピック」

4 いじめ・不登校等に対する生徒指導体制の確立

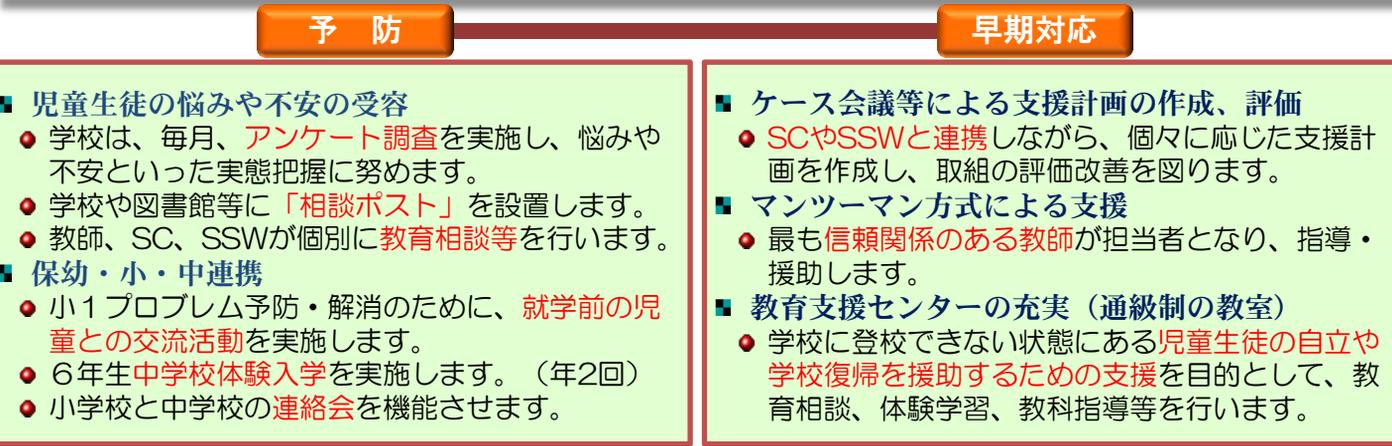
指標 ▶ 学校でのいじめ発見率：80%（実態調）
不登校児童生徒の復帰率：30%（実態調査）

いじめの未然防止・早期発見・早期対応に取り組みます

「福岡県いじめ防止基本方針、筑前町いじめ防止基本方針」を活用し、教職員間の共通理解を図ります。
※SC：スクールカウンセラー SSW：スクールソーシャルワーカー



不登校の予防・早期対応に取り組みます



人的支援を行います

児童生徒や保護者、教職員の心のケアを行ったり、児童生徒の安全確保のための点検・指導を行ったりする人材を、県費に加え町費でも雇用し、派遣します。

学 校 名	スクール カウンセラー(SC)	心の相談員	スクール ソーシャルワーカー(SSW)	スクール ガードリーダー
三輪小学校	1名 4h × 35週 (町費)		<ul style="list-style-type: none"> ● 教育課に所属します。 ● 主に次の業務を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 問題を抱える児童生徒への面接及び情報収集と環境への働きかけ ▶ 関係機関とのネットワークの構築、連携及び情報提供学校及び保護者等に対する支援、相談及び情報提供 ▶ 学校内におけるチーム体制の構築及び支援 	<ul style="list-style-type: none"> ● 年間550時間活動します。 ● 主に次の業務を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 児童生徒への安全・防犯指導 ▶ 登下校時の通学路の巡回指導 ▶ 不審者情報等緊急時の巡回 ▶ 通学路危険箇所の点検、対応指導
東小田小学校	1名 4h × 35週 (県費)			
中牟田小学校	1名 4h × 35週 (町費)			
三並小学校	1名 4h × 35週 (町費)			
三輪中学校	1名 4h × 35週 (県費)	1名 (町費)		
夜須中学校	1名 4h × 35週 (県費)	1名 (町費)		

5 特別支援教育の充実

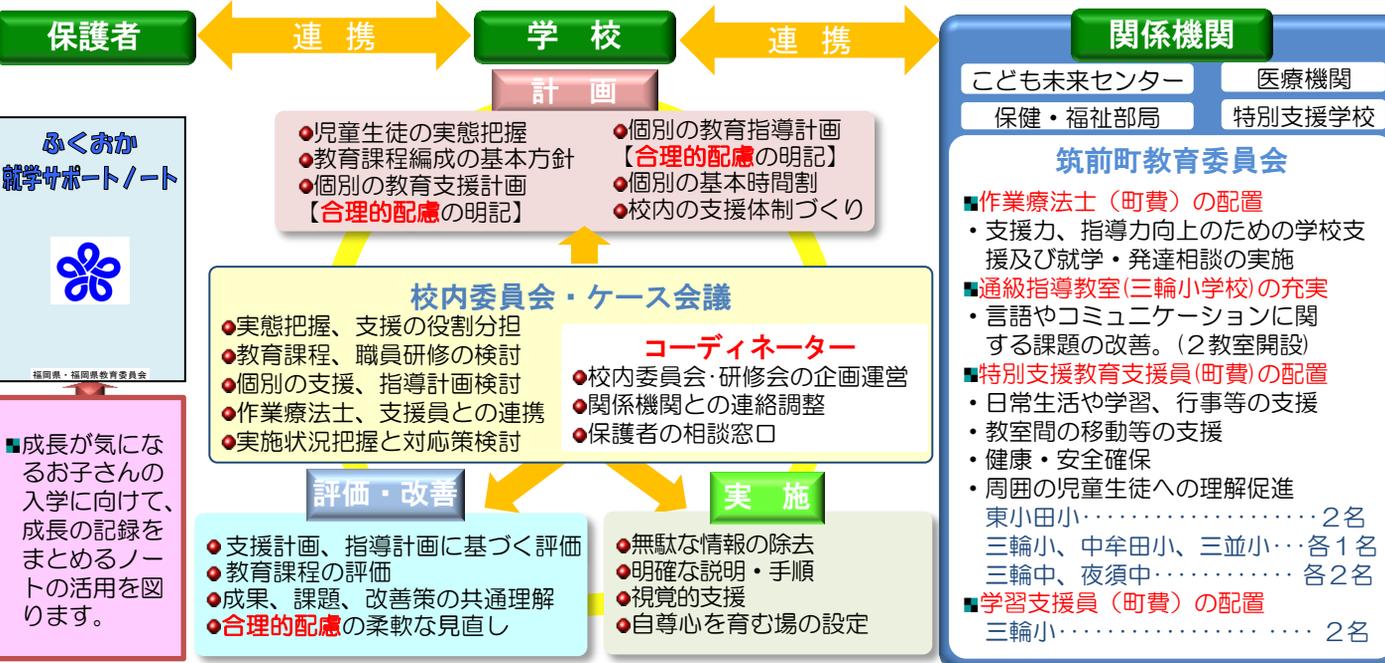
指標☞指導主事等講師を招聘した校内研修会の実施：各学校1回（実施報告）

関係機関と連携し、学校が組織的に児童生徒を支援します

学校が、保護者や関係機関と一体となって、組織的、計画的、効果的に児童生徒一人一人の自立と社会参加を支援します。

●一人一人の教育的ニーズ等に応じた合理的配慮を提供します。

●作業療法士の学校訪問による学校支援、保護者への就学・発達相談を実施します。



6 人権教育の推進

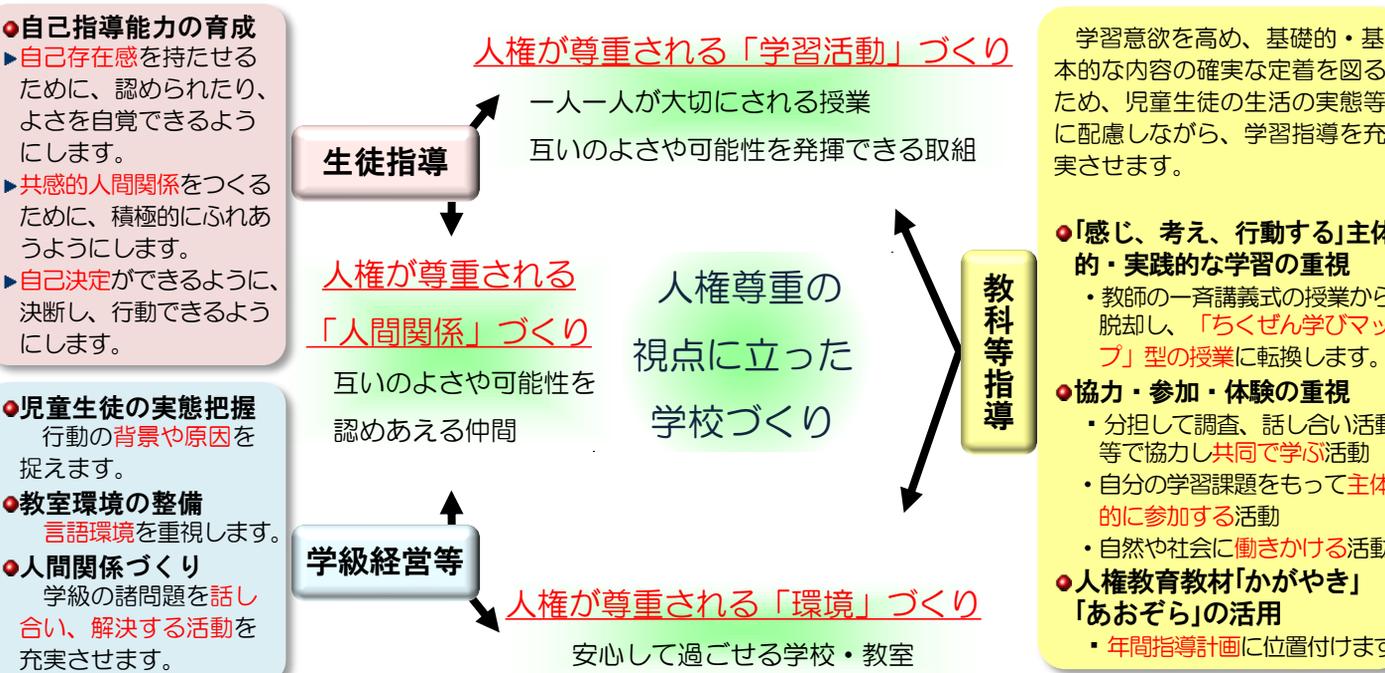
指標☞人権が尊重される「学習活動」づくりに関する校内授業研修会の実施：各学校1回（実施報告）

学校の教育活動全体を通じた人権教育を組織的に推進します

人権が尊重される「学習活動づくり・人間関係づくり・環境づくり」に取り組みます。

「個別の人権課題に対する取組」や「いのちの授業」の充実を図ります。

研修等を通して、教職員の人権認識・人権感覚の向上に努めます。



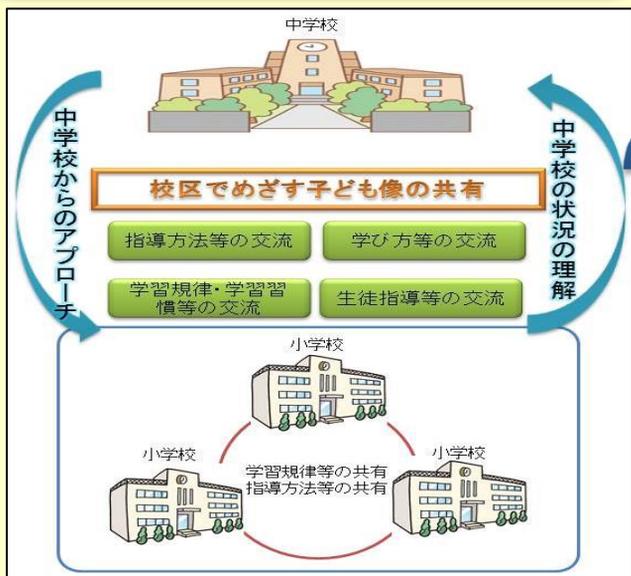
7 教職員の資質向上と人材育成

指標 筑前町教職員研修の対象者の「自己評価」の学習指導に関する評価：A以上60%（自己評価）

中学校区ごとの小中合同授業研修会を充実させます

各中学校区で設定した目標をもとに、小中連携（一貫）教育を担う教育活動を焦点化し、9年間を見通した特色ある教育活動を推進します。また、小・中学校間で授業を公開し、小・中学校の系統性を踏まえた指導の在り方を明らかにします。

9年間を見通した系統的な指導



小中合同授業研修会

【授業研究】 研究授業を通して、教科等に関する指導力を確保しながら、小・中の連続した学びを確保します。

小中学校教職員による合同の協議会



筑前町教職員研修を充実させます

教職員の経験年数やキャリア、職務内容に応じた研修を行い、実践的指導力を磨き、児童生徒の確かな学力、豊かな心、健やかな体を育みます。

経験年数に応じた研修

初任者研修

- 不祥事防止等、サービスに対する認識及び人権認識・人権感覚の向上を図ります。
- 教育センター指導主事によるメンタルヘルスを行います。

スキルアップ研修（教職経験3・4年経過教員研修）

【授業研究】 指導主事又は管理職による直接指導を受ける研究授業を通じて、教科等に関する指導力の向上を図ります。

グロウイング・アップ研修（教職経験6～9年経過教員研修）

【授業研究】 指導主事又は管理職による直接指導を受ける研究授業を通じて、教科等に関する指導力の向上を図ります。

筑前町主題研修（教職経験11～25年経過教員研修）

【主題研究】 教科等の学習指導の改善のために必要な課題を研究主題として設定し、実証的活動を通して、教材開発や指導方法等の効果を明らかにします。

エキスパート研修（教職経験26年以上経過教員研修）

【教育実践研究】 教育活動の実践を論文等にまとめ、ベテラン教員の優れた教育実践の普及を行い、若年教員の育成を図ります。

職務内容に応じた研修

筑前町教頭研修会

筑前町教務主任等研修会

英語教育推進教員研修会

筑前町管理職等研修会

道徳教育推進教員研修会

ICT活用教育担当教員研修会

特別支援教育支援員等研修会

